

2011年10月11日
矢崎総業株式会社

ドライブレコーダー『YAZAC-eye 3 Lite』新発売

トラック・タクシー事業者のニーズに対応し、更なる普及拡大を目指す

矢崎総業株式会社（社長：矢崎信二、資本金：31億9,150万円、本社：東京都港区）は、トラック事業者やタクシー事業者のニーズに対応したドライブレコーダー『YAZAC-eye 3 Lite』を開発、10月21日より全国一斉に新発売します。

新製品『YAZAC-eye 3 Lite』は、「YAZAC-eye 3」の基本機能はそのまま継承し、接続カメラ数をターゲットの市場ニーズに対応して2個としました。

これにより、本体ベースでの導入費を3割抑えることができます。

2個のカメラは、ドライブレコーダーの基本機能となる事故画像の記録と、車内画像を記録することによる防犯機能に対応します。

さらに、「YAZAC-eye 3」シリーズの最大の特長である予防安全に寄与するハザードマップの自動作成機能や、ドライバーへの警告機能も装備しているほか、周辺機器としてマイクユニットと矢崎製ETCが接続可能です。

『YAZAC-eye 3 Lite』の発売により、矢崎のドライブレコーダー「YAZAC-eye 3」シリーズは、発売済みの「YAZAC-eye 3」、デジタルタコグラフ機能内蔵の「YAZAC-eye 3T」に加え、計3機種となります。

本体価格（メインカメラ、GPSアンテナを含む）は73,500円（消費税込）。

『YAZAC-eye 3解析ソフト』は141,750円（同）。

販売目標は初年度10,000台（本体ベース）です。

【開発背景】

当社では、ドライブレコーダー「YAZAC-eye 3」（2010年11月発売）と「YAZAC-eye 3T」（2011年3月発売）を発売し、これまでの10ヵ月で約10,000台（本体ベース）を販売してきました。その間、運送事業者の特性や市場ニーズを分析し、今年8月には、新開発の大容量記録媒体を組み合わせる長時間記録に対応した「バス事業者専用」タイプを市場投入しました。

今回発売する『YAZAC-eye 3 Lite』は、トラック事業者やタクシー事業者のニーズに対応したもので、「YAZAC-eye 3」の基本機能を継承しつつ、カメラ機能は事故記録機能と防犯機能に絞りました。

開発にあたっては、「YAZAC-eye 3」のスペックをドライブレコーダーの必須機能と付加価値機能に層別（分類）し、設計の見直しを図りました。

カメラ接続2個、GPS、EMS機能、マイクユニット、矢崎製ETC、矢崎製デジタルタコグラフ連動、矢崎製タクシメーター(アロフレンド24)連動は必須機能として保持。

SWU2(スイッチユニット2)連動、温度センサ接続、モニタ出力機能は付加価値機能に層別しました。接続機器は絞り込みましたが、機能は「YAZAC-eye3」と同等で導入のしやすさを追求しました。

『YAZAC-eye3 Lite』の特長は、以下の通りです。

1. 導入コストを削減

- ・ 本体の標準価格は73,500円(消費税込)。

2. カメラ2個でダブル記録

- ・ メインカメラ(事故、ヒヤリ・ハット)と車内カメラ(防犯)でダブル記録します。

3. 常時記録とトリガ記録のダブル記録

- ・ 重要シーンは常時記録とトリガ記録の両方に記録するため安心です。

4. EMS対応

- ・ 速度チャート、安全運転日報等、EMS機能が充実しています。

5. 鮮明画像

- ・ 夜間、逆光でも鮮明な画像を記録できます。

6. 機器連動

- ・ 矢崎のデジタルタコグラフ、タクシメーター(アロフレンド24)にトリガ回数を出力します。
- ・ デジタルタコグラフ、タクシメーターの安全運転日報でトリガ回数を確認できます。

7. 予防安全機能の充実

- ・ ハザードマップ、KYT(危険予知トレーニング)機能で事故削減を支援します。

■『YAZAC-eye3 Lite』の概要

1. 構成商品および販売価格(消費税込)

○ドライブレコーダー『YAZAC-eye3 Lite』	73,500円
(構成内容) ①本体、②メインカメラ、③GPSアンテナ、④付属ハーネス	
○カラーカメラ(オプション)	18,900円
○赤外線カメラ(オプション)	18,900円
○音声ユニット(オプション)	6,300円
○読取装置	31,500円
○解析ソフト『YAZAC-eye3解析ソフト』	141,750円

2. 外形寸法

『YAZAC-eye3 Lite』140(幅)×154(奥行き)×29(高さ)mm

3. 発売日

2011年10月21日

4. 初年度販売計画

10,000台/年

■業務用車両の安全運行を支援する当社の取り組み

当社は、2005年にドライブレコーダー『YAZAC-eye』を発売して以来、累計で約10万台を販売してきました。「記録した画像を事故削減のために活かす」ことをコンセプトに「予防安全」を重視したドライブレコーダーを開発して参りました。

今後も当社は、運輸事業者の安全運行に役立つ製品を開発・提供し、日本の運輸業界の「安全」を見守り続けていきたいと考えています。

- 2005年5月 ドライブレコーダー『YAZAC-eye』を発売。
- 2008年2月 カメラ分離型の『YAZAC-eye 2』を発売。取り付け条件を格段に改善。
- 2009年4月 長時間記録型ドライブレコーダー『YAZAC-eye 2L』を発売。
- 2009年10月 『ドライブレコーダーデータ解析サービス』を開始。
- 2010年11月 第3世代予防安全ドライブレコーダー『YAZAC-eye 3』を発売
- 2011年3月 デジタルタコグラフ内蔵型ドライブレコーダー『YAZAC-eye 3T』発売
- 2011年8月 長時間記録媒体『SSD128GB』を開発し、「バス事業者専用タイプ」発売
- 2011年10月 ドライブレコーダー『YAZAC-eye 3Lite』を新発売

■製品写真『YAZAC-eye 3Lite』

本体（上）、GPSアンテナ（下右）、メインカメラ（下左）



■解析ソフト画面（ハザードマップ）



この件に関するお問い合わせ先
 矢崎総業株式会社 広報部
 Tel. 055-965-3002
 Fax. 055-965-0450

製品に関するお問い合わせ先
 矢崎総業株式会社 計装本部 企画部
 Tel. 0547-37-2601
 Fax. 0547-37-2355